

第1課 力！

教室の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

「お話の前に」を始めます。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと讃美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。



怖いものと勇気

準備：人数分の紙と鉛筆、黒板とチョーク、

2つの小石か2枚の索引カードを人数分活動

◎ 活動

- ・教室に来た子から順番に紙と鉛筆を渡し、自分が怖いと思うものをリストか絵にかくように言います。例えば、死ぬことが怖ければ、花束ののった棺おけを描きます。
- ・大人たちは必要に応じて手伝います。
- ・安息日学校が始まったら、生徒たちに自分の怖いと思うものを発表させ、あなたは出てきた物をみんなが見えるところに書いてリストを作ります。
- ・死、親を失うこと、失敗すること、友人がいなくなること、貧乏になること、などの大きな恐れがリストに上がったら、全員に索引カードを2枚ずつか、石を2つずつ渡します。
- ・子どもたちに、リストにあるもののうち一番怖いと思うものを2つ選ぶよう言います。
- ・あなたはリストを読み上げていき、子どもたちは自分の選んだものが読まれたら、あなたにカードか石を渡します。
- ・その数を記録して、みんなの見えるところに結果を書きます。

◎ 話し合しましょう

- ・「ここにあるのはみんな、恐ろしい状況ですね。一番怖いと思うのはどれですか。2つ言ってみてください。」
- ・子どもたちが答える時間を取ります。
- ・「こういったものに立ち向かうには、勇敢にならなくてはなりません。勇気が必要です。勇気とは何でしょう(怖がらないこと、怖いと思っても何かをすること、など)。勇気とは、神さまがあなたに望んでおられることをすることです。それがたとえ難しくても、です。」
- ・使徒言行録4:29を声に出して読みます。
- ・「ここでは、勇気を別の言葉で何と言っていますか(大胆に)。ここでは、イエスさまのお友だちが教会で、大胆になれるよう力をください、とお祈りしています。あなたの教会のお友だちが、何か怖いことがあって、神さまが望んでおられることをするのに勇気が必要なとき、あなたは何をしますか。」(その人のために祈り、神さまの力について話す)
- ・「神さまの力についてはどうやって学ぶことができますか。」(教会に行く。聖書を読む。祈る)
- ・「それが今日のメッセージです。先生がまず1度言うので、その後でいっしょに言いましょ。」

メッセージを一緒に言いましょ

毎日の生活の中にも、神さまの力が働いています。

B 力の源とつながる 準備：電池の入った懐中電灯、小さな紙

◎ 活動

- ・安息日学校の前に、懐中電灯の電池の上の部分に紙を挟み、電気が通じないようにしておきます。紙を取り除くとつくけれど、紙が挟まっているとつかないことを確認してください（大人数のクラスでは、子どもたちを6-8人のグループに分け、それぞれのグループに1台ずつ懐中電灯を用意してください）。
- ・1人に、懐中電灯のスイッチを入れるよう言います。「懐中電灯がついたら、すぐに立ち上がり、みんなにその光を見せてください。」
- ・懐中電灯がつかないのを確認したら、他の生徒にもう1度やらせてください。
- ・何度か試したあと、誰かに懐中電灯を分解してみるよう言います。
- ・子どもたちが紙をみつけたら、それを取り除いてもう1度スイッチを入れさせましょう。

◎ 話し合いましょ

- ・「なぜ懐中電灯は最初つかなかったのですか。」（紙が邪魔していたから）
- ・「懐中電灯がつかなかったとき、どんな気持ちになりましたか。」（イライラした。なぜだろう、と思った。など）
- ・「懐中電灯はどこから力をもらいますか。」（電池から）
- ・「なぜ電池の力が電球に届かなかったのでしょうか。」（紙が邪魔していたから）
- ・使徒言行録4:31を声に出して読みます。
- ・「この聖句は、聖霊の力と勇気について、どんなことを教えてくれますか。」（聖霊に満たされるには、祈らなければならないこと。神さまが力と勇気をくださること）
- ・「あなたの力の源は、お祈りです。それを誰にも、何にも、邪魔されないようにしてください。教会のお友だちや家族といっしょに、聖霊が私たちにイエスさまのために勇敢になれる力をくださるようお祈りしてください。」
- ・「今日のメッセージを言いましょ」

メッセージを一緒に言いましょ

毎日の生活の中にも、神さまの力が働いています。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・お話の中のどこに聖霊の働きが出てきたか、子どもたちがわかるようにしてあげてください。

◎ 献金 準備:ブリキ缶など、物乞いがお金を集めるのに使うような入れ物

- ・物乞いは、自分の必要を満たすためにお金を集めます。私たちは、イエスさまを必要とする人のために献金を集めて、教会から送ります。

◎ お祈り

- ・子どもたちは輪になり、右手を前に出して重ねます。
- ・今お互いにつながっているように、いつも聖霊とつながっていることができるよう、毎日の生活で聖霊の力が感じられるよう、お祈りします。

第2課 ろうやからのだっしゅつ！

教室の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

「お話の前に」を始めます。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと讃美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A

染みこむもの

準備: 透明なプラスチックコップに水を入れたものを人数分、

食用色素、紙製品

◎ 活動

- ・水の入ったプラスチックコップを全員に配ります。
- ・食用色素を数滴たらしめます。
- ・全員に紙タオルを配り、それを水につけさせます。
- ・色水がタオルに染みこむ様子を観察します。
- ・他の素材(紙ナプキン、ティッシュ、紙、綿、布、毛糸、など)でも同じ事をして、どれが一番水が染みるか見てみましょう。

◎ 話し合しましょう

- ・「みんなの身体の中で、何かが染みこんでいくところがありますか。」(口、髪、脳、など)
- ・「頭にはどんなものが染みこんでいきますか。」(情報、知識、思い出)
- ・「紙が水で染まるのと、私たちの脳とは、どんな点が似ていますか。」(私たちの脳は記憶する)
- ・「私たちは、どんなもので脳をいっぱいにしたいでしょうか。」(知識、良いもの、など)
- ・使徒言行録4:12を声に出して読みます。
- ・「私たちが一番知っておかなければならないことは何でしょう。」(イエスさまについて)
- ・「私たちは教会でどんなことを学びますか。」子どもたちの答えを聞きます。
- ・「今日のメッセージを言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

誰よりもイエスさまが一番大切です。

B

一番の有名人

準備: 有名人の写真、イエスさまの絵

◎ 活動

- ・子どもたちに、様々な有名人(スポーツ選手など)の写真を見せます。
- ・子どもたちに、その写真の人の中から、自分にとって大切だと思う人を選ばせます。誰が一番大切

でしょう。

- ・写真を1枚ずつ見ながら、その人の好きなおところや嫌いなおところを聞いていきます。

◎ 話し合しましょう

- ・「なぜこの人を、自分にとって一番大切な人にしたのですか。」
- ・「みんなにとって、一番大切な人とは誰でしょう。」(イエスさま)
- ・「イエスさまを一番大切な人にするために、何をしたら良いのでしょうか。」(毎日祈る。聖書を学ぶ。イエスさまについての歌を聴いたり歌ったりする。他の人にイエスさまのことを話す。教会に行く。など)
- ・「それが今日のメッセージです。」

メッセージを一緒に言いましょ

誰よりもイエスさまが一番大切です。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・子どもたちが、お話の中のどこにイエスさまの名前が適用されているかわかるようにしてあげてください。

◎ 献金 準備: イエスさまの絵のついた献金入れ、イエスさまの名前のリスト

- ・イエスさまの様々な名前のリストを張ります。
- ・「私たちの献金は、他の人たちも、イエスさまやイエスさまの様々な名前を知ることができるようになるため使われます。」
- ・子どもたちは、献金を入れるとき、イエスさまの名前を一つ言います。

◎ お祈り

- ・子どもたちに、自分の名前の意味を知っているか聞いてみます。
- ・お祈りの中で、一人ひとりの名前をあげて、その子をくださったことを感謝します。
- ・そして、神さまがイエスさまを送られ、その名前によって救いが与えられたことにも感謝しましょう。

第3課 天使の顔

教室の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

「お話の前に」を始めます。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと讃美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A

毒の川を渡る

準備: マスキングテープ、A4サイズの紙を人数分

◎ 活動

- ・床に粘着テープを貼って「川」(ジャンプして飛び越えられないくらい幅の広いもの)をつくります。
(大人数のクラスでは、グループをつくるか、外でこの活動をしましょう)
- ・子どもたちにA4の紙を配り、次の指示を言います。「今からこの川を渡ってもらいます。けれどもここには毒が流れていて、触れたらたちまち死んでしまいます。その紙は川を渡るための踏み石です。自分と『石』の両方が川を越えなければなりません。」
- ・みんなが方法を模索するための時間を取ります。
- ・もし何分か経ってもわからないようなら、やりかたを見せてあげましょう。
一人の生徒に紙を全部渡し、その子にその紙を全部使って川を渡らせませす。
最後の生徒は、使い終わった紙を回収しながら川を渡ります。

◎ 話し合ひましょう

- ・「どうになりましたか。」(川を渡る方法がわかった)
- ・「この活動をしているとき、どんな気持ちになりましたか。」(助けが必要だと思った。1人ではできないと思って不安になった)
- ・「この活動から何を学びましたか。」(お互いに協力しあって、難しいことをやり遂げることができるということ)
- ・ヘブライ10:25を読みます。
- ・「毒の川を渡る活動を通して、この聖句をどう理解することができますか。」(励ましあうことで、協力しあえるということ。協力して働くことで、周りの人を励ますことができる)
- ・「それが今日のメッセージです。」

メッセージを一緒に言ひましよう

私たちはお互いに励ましあひます。

B パズル 準備:生徒の人数分以上のピースのある単純なパズル

◎ 活動

- ・子どもたちに、単純なパズルのピースを配ります(全部のピースを配るようにしてください)。
- ・子どもたちにパズルを組み立てるように言います(難易度を上げるため、最初のうちは完成図を見せずにやらせてもいいでしょう)。

◎ 話し合しましょう

- ・「パズルを組み立てるのに一番難しかったのはどんなところですか。」(難しくなかった。お手本の絵がなかった。最初の1ピースを置くところ)
- ・「一番簡単だったのはどんなところですか。」(最後のピースを置くところ。など)
- ・「どれか、重要でないピースはありましたか。」(ない)
- ・「誰にも助けしてもらわずにこのパズルを完成させることはできましたか。」(できない)
- ・「なぜですか。」(全部のピースが必要だから)
- ・ヘブライ10:25を読みます。
- ・「この活動で、何があなたを励ましたか(子どもたちの答えを聞きます)。家でも学校でも、何をするにも……」

メッセージを一緒に言いましょ

私たちはお互いに励ましあいます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・子どもたちに、お話の中に出てくる人が信仰によってお互いが成長できるよう働いた様子がわかるようにしてあげてください。

◎ 献金 準備:装飾した献金入れ

- ・献金を集めながらこう言ってください。「私たちの贈り物は、神さまの家族の一員である人たちが、信仰によって成長するのを助けるために使われます。」

◎ お祈り 準備: クラスの祈りの課題ノート または黒板とチョーク

- ・子どもたちに、自分たちの必要を打ち明け、お互いに祈ったり励ましあったりする機会を与えます。
- ・子どもたちの心配事を、祈りの課題ノートか黒板に書きます。
- ・答えられた祈りには星印をつけます。
- ・教会の家族に感謝し、お互いが信仰を成長させるために助け合うことができるようお祈りします。
- ・「祈りのパートナー」を提案しましょう。子どもたちは、これから1週間そのパートナーのために特別に祈るようにします。

第4課 見せかけのクリスチャン

教室の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

「お話の前に」を始めます。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと讃美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。



色水の罪

準備: 透明なプラスチックコップ、水、食用色素を何色か、

大きな透明の入れ物、こぼれないような瓶に入った塩素系漂白剤少量、スポイト

◎ 活動

- ・3センチほど水を入れたプラスチックコップを全員に配ります。
- ・罪が私たちに汚くしてしまうという話をしながら、子どもたちのコップにそれぞれ異なった色の食用色素を入れていきます。
- ・それから子どもたちに、自分とは違った色の水を持っている人たちと、色を混ぜる実験をさせます(そのためにコップがもっと必要になるかもしれません)。
- ・何分かしたら、子どもたちに水を大きな透明の入れ物に入れさせます。その頃には水は灰色か茶色になっているでしょう(私たちの生活は罪で本当に汚れているのです)。

◎ 話し合しましょう

- ・「水はまたきれいになるでしょうか。私たちは自分で自分を変えてきれいになることはできますか。私たちを変えて、きれいにするのができる唯一の存在は何でしょう。」(神さま)
- ・水に塩素系漂白剤を何滴かたらし、ゆっくりかき混ぜます。水は少しずつきれいになっていきます。必要に応じて漂白剤をもう1、2滴加えましょう。
- ・「水がきれいになったとき、どんな気持ちになりましたか。」(嬉しかった。驚いた)
- ・「誰かが良い方に変ったら、どんな気持ちになりますか。」(その人をもっと好きになる。その人のことを思っ嬉しくなる)
- ・「あなたは神さまの子どもに選ばれていますか。」(まだイエスさまに従う決心をしていない子どももいるでしょう。その子に決心を促してください)
- ・「イエスさまに従う決心をすると、どんな気持ちになりますか。」(今よりも幸せになる。変えられる。など)
- ・コリントⅡ5:17を声に出して読みます。
- ・「私たちの教会も、もし教会員がこのように変えられたらもっと幸せな場所になるでしょう。それが今日のメッセージです。まず先生が言うので、その後で一緒に言ってみましょう。」

メッセージを一緒に言ひましよう

神さまを知ると、私の生き方は変わります。

B 風船ウォーク 準備:人数分の風船

◎ 活動

- ・子どもたちに風船を渡し、ふくらませて口をしぼらせます。大人は必要に応じて助けてあげてください。
- ・子どもたちに、風船を肩に乗せて歩くように指示します。風船は落ちてしまいます。
- ・次に、風船で自分の服を素早く何度かこすらせ、もう1度やらせます。静電気がおきて、風船を肩に乗せて歩くことができるようになります。

◎ 話し合しましょう

- ・「今どんなことが起こりましたか。」(風船は最初落ちたけど、肩に乗るようになった)
- ・「イエスさまのために正しい道を歩こうとしても、その道から外れてしまうことがあります。どうしたら外れずにいることができるでしょう。」(イエスさまと話す。聖書を読む。教会に行く。サタンの道を避ける。両親の忠告を聞く。など)
- ・「正しい道を歩くことを妨げるものは何でしょう。」(イエスさまのための時間を取らないと、間違った道を歩んでしまう。人の言うことを聞かないこと。人を傷つけること。など)
- ・「それが私たち人間です。けれども神さまが私たちを変えてくださいます。丁度今私たちが風船をこすって変えたように、です。それを聞いてどんな気持ちになりましたか。」
- ・「『神さまを賛美します』と言いましょ(「神さまを賛美します!」)」
- ・コリントⅡ5:17を読み、子どもたちに繰り返させます。
- ・「それでは、今日のメッセージを一緒に言いましょ。」

メッセージを一緒に言いましょ

神さまを知ると、私の生き方は変わります。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょ。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・子どもたちに、神さまが誰かの人生を変える様子がわかるようにしてあげてください。

◎ 献金 準備: 装飾した献金入れ(活動内容参照)

- ・「献金入れに貼ってあるこの写真は、同じ人のものです。1枚は赤ちゃんのころで、もう1枚は、その人がもっと大きくなってから(または大人になってから)のものです。この赤ちゃんは見た目が変わっています。」
- ・「イエスさまは私たちの内側を変えたいと思っておられます。私たちの献金は、周りの人がイエスさまを知り、変えられるようになるため使われます。」

◎ お祈り

- ・「みんなの知っている人の中に、イエスさまのところに来て変えられる必要のある人はいますか。」
考える時間を取ります。
- ・「今から先生がお祈りをしますが、途中でちょっと空白の時間を取ります。その間に、その人のために心の中でお祈りしてください。」
- ・お祈りの最後に、イエスさまに私たちを変えてくださるようお願いし、私たちや、今私たちが祈った人のためにして下さる特別な働きを感謝します。

第5課 お金よりもすばらしいもの！

教室の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

「お話の前に」を始めます。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと讃美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A

宝探し

準備: 部屋の中に隠す宝を10-12個、隠した宝のリスト

◎ 活動

- ・宝を、目には入るけれども言われないと気づかないような所に置いておきます。色や質感を使ってカムフラージュしてください。例えば、紙を切り抜いてカーテンにピン止めしたものは、カーテンの布のデザインに紛れてしまうでしょう。様々な色の造花は、本物の花と一緒に花瓶に入れておきます。緑色のリボンや木の枝の葉っぱに隠しましょう。綿は、フェルトの雲にくっつけておけます。色々と工夫してみてください。
- ・子どもたちに、宝のリストを配ります。「宝を見つけたら、表にチェックをつけていってください。けれどもそれを人に話したり、指差したりしてはいけません。」
- ・字の読めない人がいたら、読める人とペアを組ませます。5-10分ほど時間を与え、子どもたちが見つけられなかったものがどこにあるか教えてあげましょう。

◎ 話し合しましょう

- ・「見つけるのが一番難しかったのは何ですか。」(何も難しくなかった。全部難しかった。など)
- ・「私たちは、すぐ目の前にあるものが見えずに、誰かに教えてもらわないと見つけられないことがあります。見つけたものを誰にも教えてあげられなかったとき、どんな気持ちになりましたか。」(辛かった。辛くなかった。助けてあげたかった)
- ・ヨハネ12:21を声に出して読みます。
- ・「イエスさまに会うのが難しい人たちもいます。けれども私たちはそういった人たちを助けてあげることができます。」
- ・「今日のメッセージを言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

奉仕することで、私はイエスさまを示します。

B サンドイッチ作り 準備: サンドイッチの材料、紙と鉛筆、清潔な台かペーパータオル

◎ 活動

- ・簡単なサンドイッチの材料をテーブルに置きます。
- ・4、5人のグループを作り、各グループに大人のアシスタントをつけます。それぞれのグループに紙と鉛筆を配り、サンドイッチの作り方を書くように言います。
- ・大人のアシスタントと年上の生徒たちは、手順のリストアップを手伝います。
- ・出来上がったら、紙を集めて1つのグループの紙を読み、清潔な台かペーパータオルの上で、その指示に正確に従ってサンドイッチをつくってみます(足りない手順があっても補ってはいけません)。
- ・例えば、指示に「バターの上にジャムをぬる」とあれば、子どもたちにその通りにするように言います。もしパンの上にバターとジャムをぬるんだと子どもたちが主張すれば、それをレシピに書いておきましょうと言ってください。

◎ 話し合いましょう

- ・「いい指示が書けたと思いますか。足りない所があったのがわかりましたか。言葉だけでは十分でないときがありますね。」
- ・ヨハネ12:21を声に出して読みます。
- ・「たくさんの人たちが、イエスさまに会いたいと思っています。イエスさまについてのことを読んでいるだけでは足りないのです。実際に会いたいと思っています。イエスさまを他の人たちに見せるには、あなたの中にいるイエスさまが周りの人に仕えている様子を見てもらうことです。」
- ・「私たちはどうやって周りの人にイエスさまを見てもらうことができるのでしょうか。今日のメッセージがそのやり方を教えてください。」
- ・メッセージを言い、みんなでもう1度一緒に言いましょう。

メッセージを一緒に言いましょう

奉仕することで、私はイエスさまを示します。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・子どもたちに、お話の中でイエスさまを周りの人に示した人は誰か聞いてみましょう。

◎ 献金

- ・「献金を持ってくることは、周りの人がイエスさまについて知る助けになります。」
- ・子どもたちに、今期の13回献金が送られる場所についての話をします。

◎ お祈り

- ・お祈りの前に鏡を回して、子どもたちは自分の顔を見ます。そして、周りの人たちは私たちの中にイエスさまを探すということを思い起こさせます。
- ・彼らは私たちの中に何を見るでしょうか。
- ・神さまのために良い模範となることができるよう、助けを求めましょう。

第6課 大通りでのいやし

教室の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

「お話の前に」を始めます。

クラスの状況に応じてAかBのどちらかを選んでください。

祈りと讃美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

A 1日看護師さん

準備: 仕事道具(体温計、血圧計、聴診器など)を持った、健康に関する職業のゲスト

◎ 活動

- ・看護師や医者、またはその他の健康に関する仕事をする人を招き、体温計や血圧計、聴診器などを持ってきてもらいます。
- ・子どもたちは順番で心臓の音を聞くなどします。
- ・ゲストに、正常な結果とそうでない結果について尋ね、どのようにして人々を癒しているか、どうしてその職業を選んだかなどを尋ねます。

◎ 話し合しましょう

- ・「神さまはどのようにして人々を癒しますか。」(奇跡を起こしてすぐに癒してくださることもあるし、他の人を通して働いて、ゆっくりと癒してくださることもある)
- ・「神さまは周りの人を癒すのに、私たちの助けを必要としておられますか。」(はい。たまに。わからない)
- ・「今日のお話は癒しについてです。今日のメッセージはこれです。」

メッセージを一緒に言いましょ

病気やけがを癒すことは、奉仕です。

B バラバラになった心 準備: 赤い工作用紙、はさみ

◎ 活動

- ・クラスの前に、赤い工作用紙に生徒数の半数分のハート形を描きます。
- ・それぞれのハートを切り抜き、真ん中を不規則なジグザグで切り離します。
- ・切った物をバラバラに置き、子どもたちは自分のハートのもう半分を持った人を探します。

◎ 話し合しましょう

- ・「心というものはバラバラに壊れてしまうことがありますか。」(はい。いいえ)

- ・「心がバラバラに壊れると、どんな気持ちになるでしょうか。」(いやな気持ち。寂しい。胸が痛くなる)
- ・「私たちはそんな心をどうしたら癒すことができるでしょうか。」(聞くことで。愛することで。励ますことで。奉仕することで)
- ・コリント I 15:58を声に出して読みます。
- ・「この聖句は心を癒すことについて何と書いていますか。」(それは神さまの業で、私たちも手伝うべきだということ)
- ・「今日のメッセージの内容をみんなで考えましょう。」
- ・メッセージを言い、みんなでもう1度一緒に言いましょう。

メッセージを一緒に言いましょう

病気やけがを癒すことは、奉仕です。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。
- ・先週の奉仕プロジェクトについて報告する時間をとります。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・子どもたちに、お話の中で癒しのお手伝いをした人は誰か聞いてみましょう。

◎ 献金

- ・「私たちの献金は、人々がどんな痛みも癒すことのできるイエスさまについて知るために使われます。」

◎ お祈り

- ・いつでも必要なときに癒しの働きを助けることができるよう、準備をさせてくださいと祈りましょう。

第7課 おわかりになりますか？

教室の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

「お話の前に」を始めます。

状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A ペアづくり

◎ 活動

- ・少人数のクラスでは、大人にもこの活動に加わってもらいましょう。世代が違った者同士の理解を深めることができます。
- ・子どもたちに、あまりよく知らない人とペアを組むように言います(仲良しの人とはダメです)。
- ・そしてお互いに共通点を探します。例えば、2人とも兄弟がいるとか、2人とも6月に生まれた、などです。
- ・3、4分後、ペアの片方が前に出て、自分たちの共通点を話します。1つ目の共通点を言った後で、他のペアにも、それと同じ共通点があるかどうか尋ねて手を挙げさせます。
- ・「共通点を探しているときに、違った点も何か発見しましたか。」子どもたちに手を挙げさせて、違った点も聞いてみます。

◎ 話し合しましょう

- ・「知っている人と友だちになるのと、知らない人となるのでは、どちらが簡単ですか。」(知っている人となる方)
- ・「なぜですか。」(知らない人と話すのは少し怖いから。優しい人ではないかもしれないし、子どもが好きではないかもしれない)
- ・「今はパートナーについて前よりもよく知っているわけですが、これで相手の人に神さまについて話すのは簡単になりましたか。難しくなりましたか。」(簡単になった)
- ・「私たちは友だちをつくる時、イエスさまのお友だちもついているのです。友だちになると、聖書について話すことが簡単になるのです。」
- ・テモテ I 4:13下句を声に出して読みます。
- ・「神さまは私たちに、周りの人にも聖書について伝えてほしいと思っておられます。」
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

聖書がわかるように助けてあげることは、奉仕です。

B 粘土のお友だち 準備:粘土

◎ 活動

- ・子どもたちに粘土を配り、聖書の登場人物を連想させる物をつくらせます(子どもたちは、何をつくっているのか誰にも言ってはいけません)。
- ・完成したら、子どもたちは順番に自分の作品を見せ、それが表している聖書の人物について話します。

◎ 話し合しましょう

- ・「粘土で物をつくるのは簡単でしたか、難しかったですか。」(簡単だった。それほど簡単ではなかった。難しかった。など)
- ・「聖書の内容を誰かに伝えるのは簡単ですか、難しいですか。」(難しいと思う人もいるかもしれません。その子には、この良い知らせを伝えてあげましょう)
- ・「今みんなは聖書の登場人物についてお話しましたね。これが聖書の内容を誰かに伝えたことになるのです。難しかったですか。」(それほどでもなかった)
- ・「誰かに聖書の内容を何か言うたびに、あなたは神さまに奉仕していることになります。」

メッセージを一緒に言いましょう

聖書がわかるように助けてあげることは、奉仕です。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・子どもたちに、お話の中で聖書を周りに伝えた人は誰か聞いてみましょう。

◎ 献金 準備:聖書とイエスさまの絵のついた献金入れ

- ・「安息日学校に献金を持ってこることで、聖書を周りの人に伝えるお手伝いをすることができます。この献金は、周りの人が神さまの愛を知るために使われます。」

◎ お祈り 準備:クラスの祈りの課題ノート

- ・生徒たちに、自分の知っている人の中でまだ聖書を知らない人の名前をあげさせます。その人の

名前をクラスの祈りの課題ノートに書き入れます。

- ・何人かの生徒に、神さまの福音をその人たちに恥ずかしがらずに伝える力をください、と祈ってもらいます。
- ・後で、子どもたちがそのリストの人たちに聖書を伝えることができたなら、その名前の横に星印をつけます。

第8課 生き返って！

安息日学校によろこそ

教室の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

「お話の前に」を始めます。

状況に応じてどの活動をするか選んでください

A 手助けする人の帽子 準備:新聞紙、テープ

(オプション: ホッチキス、ピン、工作用紙、アルミホイル、毛糸かりボン)

◎ 活動

- ・子どもたちと大人のアシスタントを2、3人ずつのグループにして、グループごとに、地域のために働いている人たちの帽子をつくります(帽子をかぶって働く人の例: 交通整理員、シェフ、農家の人、スポーツのコーチ、配達員、自衛官、運動選手、工事現場の人、など)。帽子は子どもの頭に合うサイズにつくります。
- ・帽子が完成したら、子どもたちはそれをかぶって、これをかぶっている人は社会の中でどのようなことをしているのかを話します(少人数のクラスでは、自分たちのつくらなかった帽子について話し合ったり、2つ以上の帽子をつくったりしても良いでしょう)。

◎ 話し合しましょう

- ・「今見た帽子と、社会の中で手助けしている人たちについて考えてみましょう。」(間をおきます)
- ・「だれにでも、助けが必要なきががありますね。神さまは、みんなに手助けをして、周りの人に奉仕をしてほしいと思っておられます。」
- ・「みんなが一番やってみたい手助けはどんなことですか。」(子どもたちの答えを聞きます)
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

手助けをすることは、奉仕です。

B 手助けする人の足 準備:紙、マーカー、鉛筆、はさみ

◎ 活動

- ・子どもたちは紙に自分の足(または靴)の型を取り、足型を切り抜きます。
- ・切り抜いたら、その足型に自分の名前を書きます。
- ・全員に出来上がった物を1度見せてもらいます。

- ・「それでは、この足型を、手助けする人の足型にしましょう。その足型に、自分が得意なことを絵や文字で表してみてください。例えば、走ることや、花や野菜を育てること、花を生けること、お片づけすること、絵を描くこと、お話をすること、などです。」
- ・子どもたちにかく時間を与えます。この作業中、大人のアシスタントは子どもたちのかいたタレントにあいづちを打ってあげてください。
- ・子どもたちはそれから自分の足型をみんなに見せ、自分のかいたものについて話します。

◎ 話し合しましょう

- ・イエスさまのために使えるタレントを持っていることを祝ってあげてください。
- ・時間があれば、子どもたちに、そのタレントを使って誰かを助けた経験を話してもらいます。そして、自分のタレントを周りの人に奉仕するために使うとき、どんな気持ちになるか尋ねてください。
- ・ローマ1:16を読みます。
- ・「私たちが自分のタレントを周りの人を助けるために使うとき、私たちはイエスの福音を生きているのです。」
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

手助けをすることは、奉仕です。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・誰かの奉仕が周りの人をイエスさまに導いたという話を選んでください。

◎ 献金 準備:今期の13回献金の地域を表す装飾をした献金入れ

- ・「献金を捧げて周りの人がイエスさまを知れるようにすることも、私たちにできる大切な手助けの一つです。」

◎ お祈り 準備:クラスの祈りの課題ノート

- ・祈りの課題ノートのリストに名前を加えたい人がいるか、子どもたちに尋ねます。
- ・3、4人の祈りのグループをつくり(もしできれば大人にも加わってもらいます)、リストにある全員に

ついてお祈りします。

・どうしたらリストにある人たちの手助けができるか教えてください、と祈ってください。

第9課 神さまが1番！

安息日学校によろこそ

教室の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

今週の聖書の学びの中で一番面白かったことを尋ねます。

「お話の前に」を始めます。状況に応じてどの活動をするか選んでください

A

神経衰弱

準備: カードを40枚、宗教的な絵のシールか宗教的なテーマの絵とのり

◎ 活動

- ・「神経衰弱」のようなゲームをします。カードに、宗教的なシールか宗教的なテーマの絵を貼り、20組のペアをつくっておきましょう。
- ・カードをシャッフルして、絵のついた面を下にして置きます。
- ・子どもたちは順番に、2枚ずつカードをめくっていきます。ペアを見つけた子どもはもう1度やりま
- す。
- ・このようにして、すべてのカードが無くなるまで続けます。

◎ 話し合しましょう

- ・「このゲームに勝つために、大切なことは何ですか。」(絵がどこにあるかを覚えておくこと)
- ・「みんなの人生の中で、一番覚えておかないといけないことは何ですか。」(子どもたちの答えを聞きます)
- ・黙示録4:11を読みます。
- ・「神さまは私たちに、何よりもまず神さまのことを覚えていてほしいと思っておられます。みんなの人生で一番大切なものでありたいと思っておられるのです。もし私たちがそうするのなら、私たちは神さまを礼拝していることになります。それが今日のメッセージです。」
- ・「まず先生が1度言うので、その後でみんな一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

神さまは私たちの礼拝を受けるにふさわしいお方です。

B

紙コップのピラミッド

準備: 紙コップ10個(またはそれ以上)、油性ペンかステッカー

◎ 活動

- ・安息日学校の前に、紙コップに以下の項目を1つずつ書いておきます。油性ペンで直接書いても、ステッカーに書いたものを貼ってもよいでしょう。

テレビ 友だちと遊ぶ テレビゲーム 宿題 聖書を読む

水泳 お祈り 身じたく お手伝い ビデオ

- ・安息日学校では、子どもたちにこのコップを使ってピラミッドをつくらせます。
- ・自分にとって重要でない物を下に、重要な物を上に置くように指示します(一人ひとりに1組ずつコップを渡してもよいですし、何人かの子どもに順番にピラミッドをつくってもらっても良いでしょう。人によって優先順位が違うのがわかります)。

◎ 話し合しましょう

- ・「私たちは、神さまを、優先順位リストのどのあたりに置いたらよいでしょう。一番上ですか、真ん中からへんですか、それとも下の方でしょうか。」(一番上)
- ・「もし友だちの名前でピラミッドをつくったら、一番の仲良しはどこに置きますか。」(一番上)
- ・「神さまはあなたのお友だちになりたいと思っておられます。そして毎日あなたと一緒に時間を過ごしたいと待っておられます。このメッセージを覚えておいてください……」

メッセージを一緒に言いましょ

神さまは私たちの礼拝を受けるにふさわしいお方です。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・子どもたちに、お話の中で神さまを第一にして礼拝した人は誰か聞いてみましょう。

◎ 献金 準備:「この贈り物で私は神さまを礼拝します」と書いた献金入れ

- ・「献金を持ってきて、人々が神さまを知ることができるようにすることも、神さまの素晴らしさを讃え礼拝していることになります。」
- ・“God Is So Good” を歌いながら献金を集めます。

◎ お祈り 準備:クラスの祈りの課題ノート

- ・ポップコーン式お祈りをします。
- ・子どもたちは輪になって目を閉じ、神さまをほめ讃える言葉を1つ言います(あなたはつくり主です。あなたは私の救い主です。あなたは私の友だちです。あなたは一番素晴らしいお方です。あなた

- は偉大な神さまです。あなたは礼拝を受けるにふさわしいお方です。など)。
- ・これをポップコーンがはじけるときのように、いつでもどこからでも言っていいことにします。
 - ・最後に、子どもたちが毎日神さまを一番にすることができるように祈って終わりましょう。

第10課 みちびいてくださるのは神さま

教室の入り口で生徒たちを一人ひとり迎えます。
どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。
聖書の学びについて何か話したいことがあるかを尋ねます。
「お話の前に」を始めます。状況に応じてどの活動をするか選んでください。



旅じたく

準備: 工作用紙、テープ、のり、ホッチキス、カタログや雑誌、新聞広告、

人数分のはさみ または紙と鉛筆

◎ 活動

- ・「旅行に出かける準備をしましょう。どこか行きたい場所を考えてください。」
- ・子どもたちは工作用紙を折り、テープやのりやホッチキスで両端をとめて、写真を「荷づくり」する封筒をつくります。
- ・それから、カタログや雑誌、新聞から、自分が旅行に持っていきたいものを切り抜きます。
- ・(オプション: 子どもたちは旅行に持っていきたいもののリストをつくります)

◎ 話し合しましょう

- ・「旅行の計画を立てるのは好きですか。」(はい。いいえ)
- ・「準備をするのが、行くのと同じくらい楽しいことがあります。私たちはみんな、ある旅にでかける準備をしているところです。行き先がどこだか知っていますか。」(天国)
- ・ヨハネ14:3を読みます。
- ・「私たちは天国への旅の準備をしているところです。なぜ準備をしているのでしょうか。」(神さまと一緒にいられるようにするため)
- ・「私たちはどんな準備をすればよいのでしょうか。」(毎日イエスさまとつながる。神さまを愛する。神さまを礼拝する。人々を愛する。神さまに力をいただいて、神さまの命令に従う。など)
- ・「天国に着いたらどんなことをしますか。」(イエスさまに直接お会いして礼拝し賛美する。新しいことを学ぶ。天国にいる人たちと交わる。など)
- ・「それが今日のメッセージです。まず先生が1度言うので、その後でみんな一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

私はいつまでも永遠に神さまと共に生き、

神さまを礼拝することができます。

B 荷物の整理 準備: 様々な物の入ったスーツケース(本文を参照してください)、鉛筆と紙

◎ 活動

- ・物のたくさん(最低10アイテム)入ったスーツケースを持ってきます。
- ・生徒たちはみんなの見えるところに中身を空けます。
- ・「この中から、天国で使わない物を脇にどけてください。」と指示します。あるいは、物に実際に触れずに、見ながらリストをつくっても良いでしょう。
- ・不要と思う物を選んだら、それぞれについてその理由を言ってもらいます。(例: セーターとブランケット…天国は寒くないから。ティッシュ…天国にはアレルギーも風邪もないから。眼鏡…天国では目が悪くならないから。電球…夜がないから。)

◎ 話し合しましょう

- ・「神さまは私たちが住むために、完璧な場所を用意してくださっています。私たちはどうやったらそこに行くことができるでしょうか。」
- ・ヨハネ14:3を声に出して読みます(イエスさまが私たちを迎えにきてくださる)。
- ・「イエスさまはどうして迎えにきてくださるのでしょうか。」(私たちを愛しているから)
- ・「天国に行くことについて、どう思いますか。」(ワクワクする。待ちきれない。など)
- ・「天国に行ったらどんなことをしたいですか。」(イエスさまと一緒に過ごす。宇宙旅行をする。モーセやペトロや自分のおじいちゃんに会う。イエスさまに直接お会いして礼拝し賛美する)
- ・「それが今日のメッセージです。」メッセージを言い、みんなでもう1度一緒に言いましょう。

メッセージを一緒に言いましょう

私はいつまでも永遠に神さまと共に生き、
神さまを礼拝することができます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・子どもたちに、お話の中で天国や再臨を心待ちにしていた人は誰か聞いてみましょう。

◎ 献金 準備:王冠の絵のついた献金入れ

- ・「私たちの献金は、人々がイエスさまのことを知り、天国に行く準備をして永遠にイエスさまを礼拝できるようにするために使われます。」

◎ お祈り

- ・再臨についての讃美歌を歌います。
- ・それからみんなで声を合わせて、「イエスさま、私たちはいつまでも永遠にあなたと共に生きたいです。どうか早く来てください。」とお祈りします。

第11課 どちらの味方

教室の入り口で生徒たちを一人ひとり迎えます。
どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。
聖書の学びについて何か話したいことがあるかを尋ねます。
「お話の前に」を始めます。状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 風船

準備(1人分):水か炭酸水の入っていた透明な瓶、風船、大さじ1杯(15グラム)の重曹、1/4カップ(50グラム)の酢、大さじ

◎ 活動

- ・ふくらませていない風船を一人ひとりに配ります。
- ・大さじ1杯(15グラム)の重曹を風船の中に入れます。
- ・次に、透明な瓶に酢を3センチほど注ぎます。
- ・風船の口で瓶の口を覆い、密封状態にします。風船の中の重曹を瓶に注ぎいれます。
- ・風船がふくらむ様子を見てみましょう。

◎ 話し合しましょう

- ・「面白かったですね。自分で息を吹き入れなくても風船をふくらませられるなんて、すごいと思いませんか。今のは、神さまのなさることと何か似ていませんか。」(似ています)
- ・「どんなところですか。」(神さまは姿が見えなくても私たちと一緒におられる。など、生徒の答えを聞きましょう)
- ・「素晴らしいことに、神さまは私たちと毎日、いつも一緒におられます。みんなは毎日神さまに感謝して礼拝していますか。」
- ・「今日のメッセージは何でしょう。一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

私は神さまを毎日礼拝します。

B かくらべ

◎ 活動

- ・子どもたちにペアを組ませます。
- ・ペアの片方は、人差し指を自分の頭の上しっかりと押し付けます。
- ・もう一人はその指をゆっくりとひっぱって頭から離そうとします。押したり急に力を加えたりしてはいけません。
- ・交代してもう1度やってみます。

◎ 話し合しましょう

- ・「この活動をする前は、どういうことになると思いましたか。」(子どもたちの答えを聞きます)
- ・「この活動をして一番驚いたのはどんなところですか。」(自分にこんなに力があるとは思わなかった)
- ・「指1本にこんなに力があると思っていましたか。」(いいえ)
- ・「その力はどこから来るのでしょうか。」(神さま)
- ・「神さまはどのようにしてその力を見せてくださいますか。」(自然を通して。祈りに答えることによって。私たちを変えてくださることで)
- ・「神さまの力についてどう思いますか。」(素晴らしい。など)
- ・「私たちが神さまや神さまの力について考える時間を持つとき、私たちは礼拝をしているのです。それが今日のメッセージです。」

メッセージを一緒に言いましょ

私は神さまを毎日礼拝します。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・子どもたちに、お話の中で神さまの力を感じられるところはどこか聞いてみましょう。

◎ 献金 準備:「神さま」と書いた電池を付けた献金入れ

- ・「懐中電灯の中の電池は、懐中電灯がつくための働きをします。私たちの中の神さまは、私たちが生きるための力を毎日くださいます。神さまなしの私たちは、電池の入っていない懐中電灯のようなものです。多くの人々は、神さまが中にいないので力のない生活を送っています。」
- ・「私たちの献金で、人々が神さまの力について知るお手伝いをしましょう。」

◎ お祈り 準備:お祈りの歌

- ・子どもたちとお祈りの歌を歌います。お祈りの前や後に歌う歌ではなく、歌詞そのものがお祈りになっているものを選んでください。子どもたちに、歌の内容について考えさせましょう。
- ・最後にお祈りをして終わります。

第12課 ようやく助かった！

教室の入り口で生徒たちを一人ひとり迎えます。
どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。
聖書の学びについて何か話したいことがあるかを尋ねます。
「お話の前に」を始めます。状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 鬼ごっこ 準備:シーツか毛布かラグ

◎ 活動

- ・このゲームは、「安全スペース」付きの、走らない鬼ごっこのようなものです。
- ・鬼を一人決め、そこにいたらつかまらない「安全スペース」(「基地」)の説明をします。
- ・「基地」は先生の近くにラグかマットを置いてつくるか、テントや、テーブルに毛布をかけてつくりま
す。
- ・鬼に捕まった子は次の鬼になります。
- ・子どもたちは「基地」に入ったり鬼を避けたりして、捕まらないようにします。
- ・これを5分ほど続けます。全員が参加できるようにしてください。

◎ 話し合しましょう

- ・「鬼になるのはどんな気分でしたか。」(平気。イヤだ。楽しい)
- ・「鬼から逃げようとするときどんな気分でしたか。」(楽しい。ばかばかしい。など)
- ・「『安全スペース』があつて良かったと思いますか。」(はい。まあまあ)
- ・「あなたの生活の中に『安全スペース』はありますか。」(はい。いいえ。わからない)
- ・箴言18:10を読みます。
- ・「私たちが走っていくことのできる、『のがれの場所(安全スペース)』はどこにあるでしょう。」(神さ
ま、主、イエスさま。神さまのいらっしゃる家や学校。教会)
- ・「今日のメッセージを言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

教会は私にとってのがれの場所です。

B 触っちゃダメ! 準備:テープか CD プレーヤー、元気な賛美歌

◎ 活動

- ・鬼ごっこの逆バージョンのゲームをします。
- ・元気な賛美歌をかけ、子どもたちはそれに合わせて部屋の中を行進します。
- ・誰かに触れたりぶつかったりしてはいけません。

- ・もし触れてしまったら「基地」で30秒のペナルティータイムを過ごし、それからゲームに復帰します。
- ・触れてしまう子があまりいないようだったら、行進できる範囲を定め、それを段々狭めていきます。または子どもたちに目かくしをしても良いでしょう。

◎ 話し合しましょう

- ・「周りの人に触らないようにするのは難しかったですか。」
- ・「ペナルティータイムの後で、またゲームに復帰できるというのはどんな気分でしたか。」
- ・「聖書には、やり直すチャンスをもたらえる『のがれの町』という場所がでできます。今のゲームでやり直すチャンスをもたらしたのはだれですか。」(「基地」に行った人たち)
- ・箴言18:10を声に出して読みます。
- ・「私たちの教会はどんなところがのがれの町と似ていますか。」(みんなのための場所だということ。安心できる場所だということ。人々を罪から守ってくれる場所だということ)
- ・「教会をくださったことをイエスさまに感謝したことはありますか。」(子どもたちの答えを聞きます)
- ・「教会で礼拝をするとき、今日のメッセージを思い出してください。」

メッセージを一緒に言いましょう

教会は私にとってのがれの場所です。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・子どもたちは、お話の中で安全な場所(のがれの町)がどこに出てくるかを考えながら聞きます。

◎ 献金 準備:教会の形をした献金入れ

- ・「私たちの献金は、人々が神さまを知り、地上の『のがれの場所』である教会に来られるようにするために使われます。そして、教会でその人たちは、最高に安全な場所である天国について学ぶことができます。」

◎ お祈り 準備:紙と鉛筆

- ・4、5人の祈りのグループをつくります。

- ・それぞれのグループに紙と鉛筆を配ります。
- ・それぞれのグループで、特別なお祈りをしてあげる人のリストをつくります。
- ・そしてグループのみんなで手をつないで円をつくり、紙を中央に置いてリストにある人のためにお祈りします。
- ・「リストを取り囲んでお祈りすることで、このリストの人たちが教会での祈りにのがれの場所を見つけるイメージを持つことができます。祈りは礼拝だということを覚えておいてください。」

第13課 多すぎるほどのささげ物

教室の入り口で生徒たちを一人ひとり迎えます。
どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。
聖書の学びについて何か話したいことがあるかを尋ねます。
「お話の前に」を始めます。状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 全部あげる! 準備: 小額のコイン、さいころかルーレット、賞品

◎ 活動

- ・子どもたちを4、5人のグループに分けます。
- ・グループに1つずつさいころかルーレットを渡し、一人に10枚ずつコインを配ります。
- ・このゲームの目的は、お金を全部あげてしまうことだと説明してください。
- ・子どもたちは順番にさいころを振るかルーレットを回し、出てきた数字の数のコインをグループ内のメンバーに配ります。
- ・コインは1人にたくさん渡しても、グループ内の人たちにバラバラに配ってもかまいません。
- ・自分のお金を全部渡してしまった人が勝ちます。

◎ 話し合しましょう

- ・「今日はお金をあげてしまいたいと思いましたか。」
- ・「お金をあげるのは簡単でしたか、難しかったですか。それはなぜですか。」
- ・「ゲームは楽しかったですか。楽しくなるだろうと思っていましたか。」
- ・「誰か、お金を欲しくないと言ってきた人はいましたか。」
- ・「今日の聖書のお話に出てくる人たちは、献金で神さまを礼拝したい気持ちがとても強く、最後にはもう献金をやめてくださいと言われました。」
- ・詩編54:8「主よ、わたしは自ら進んでいけにえをささげ／恵み深いあなたの御名に感謝します。」を声に出して読みます。
- ・「今日のメッセージはこれです。」子どもたちと一緒に言いましょう。

メッセージを一緒に言いましょう

私はささげ物によって神さまを礼拝します。

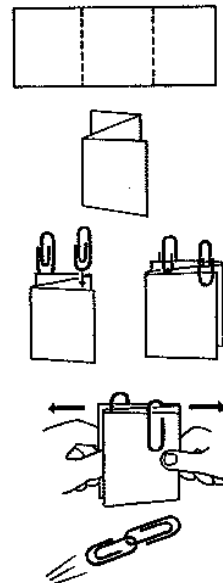
B つなげよう 準備: 5センチ×15センチほどの紙、ペーパークリップ

◎ 活動

- ・紙を1枚とクリップを2つずつ配ります。
- ・「自分の献金が少ないのではないか、と思ったことはありますか。これくらいで何の役に立つのだ

ろう、と思ったことはありませんか。」

- ・「みんなの献金はこのクリップのようなものです。」クリップを1つ見せます。
- ・「こちらのクリップは、他の人の献金だと思ってください。」と言いながら、もう1つのクリップを見せます。
- ・紙を折って、図にあるようにクリップを取り付けます。図とまったく同じように取り付けるところが重要なポイントです。
- ・子どもたちにも同じようにやらせます。
- ・「みんなの献金が他の人の献金と一緒にになったとき、その献金はつながって素晴らしいことができるようになります。」
- ・紙の両端を引くと、クリップはくっつきます。
- ・「今日は、色々な人たちの献金と一緒にになって、神さまのためにすばらしい物を建てることができたというお話をします。」



◎ 話し合しましょう

- ・詩編54:8を子どもたちと一緒に読みます。
- ・「『いけにえ』とはどういう意味ですか。」子どもたちの答えを聞きます。
- ・「『いけにえ』とは、何か価値のあるものを得るために、何かを諦めるという意味です。みんなは、献金をするときに、なにかを『いけにえ』にしていますか。そして、その代わりに何を得ていると思いますか。」
- ・「献金は、神さまを礼拝する方法の一つです。」
- ・子どもたちと一緒にメッセージを言います。

メッセージを一緒に言いましょう

私はささげ物によって神さまを礼拝します。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・「今日の伝道地便りは、私たちの献金によってイエスさまのを知ることができた人々のお話です。」
- ・子どものための伝道地便りか、その他の手に入る物語を読みます。

◎ 献金

- ・子どもたちに、伝道地便りのお話の人がイエスさまを知る(または伝える)ために、自分たちの献金がどのように使われるか、考えさせてください。

◎ お祈り

- ・献金によって喜んで神さまを讃え礼拝する心をください、とお祈りしてください。